

# 「球根ミックス花壇写真2023」

今年もさまざまな花壇が公園を彩りました！  
ご応募いただいた皆様ありがとうございました



泉区 和泉土橋公園愛護会



港南区 笹下中央公園愛護会



栄区 いの山東公園愛護会



保土ケ谷区 上星川あおぞら公園愛護会



磯子区 洋光台二丁目公園愛護会

以下の場所でも各公園の写真を展示します！！  
ぜひお越しください。

ユーコープ 東戸塚駅前店（東戸塚西口プラザ1階）  
7月22日（土）～30日（日）10時～21時

ホームページには、ご応募いただいた全ての公園の  
写真を公開しています！！（右のQRから閲覧できます）

URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/aigokai/kadan.html>



## 茅ヶ崎公園愛護会（都筑区）が国土交通大臣表彰受賞！！

おめでとうございます！

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰とは、国土交通省が花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間団体に対し、その功績をたたえ、国民運動としての緑化推進活動の模範として表彰するものです。

茅ヶ崎公園愛護会は、平成14年から「茅ヶ崎公園」で、見通しと風通しのよい、安全で明るい公園づくりを目指して活動しています。「茅ヶ崎公園」は港北ニュータウンが作られた際に、元々の地形や樹林を残して作られた公園です。そのため、公園内の清掃活動や花壇づくり活動の他に、樹林の手入れや竹林整備、希少植物等の調査と保護等の森づくり活動も行っています。

コロナ禍以前は、月2回の定例活動に加えて、定例活動日以外にも会員が日常的に清掃や見回り等の活動を行い、竹林を活用したイベントの実施や、子どもとの協働による花壇の花の植付けや樹名板の作成、公園を案内する説明会の実施など地域と協働で多種多様な活動を行っていました。

平成19～21年には「ヨコハマ市民まち普請事業」で、茅ヶ崎公園内にある荒磯川源流の復活にも取り組みました。地域住民、近隣の小学校、青年交流プラザ等と連携した活動を行うなど、活動を通して世代間交流を行っています。



▲活動の様子

熱中症に  
気を付けましょう!

## 夏季の愛護会活動の注意点



### 1 暑さを避ける

- 暑い日や暑い時間帯は無理をしない
- 急に暑くなった日は特に注意する
- 木陰で休息する
- 直射日光を長時間浴びない

### 4 日頃から健康管理

- 日頃から、睡眠を十分にとり、バランスの良い食事を
- 体調が悪いと感じた時は、無理をせず自宅で静養を

### 2 こまめな水分補給と塩分補給

- のどが渇く前に水分補給
- 1日あたり1.2リットルを目安に
- 大量に汗をかいた時は塩分も忘れずに

### 5 暑さに備えた体作り

- 暑くなり始めの時期から適度に運動を
- 水分補給を忘れずに、無理ない範囲で毎日30分程度の活動が目安

### 3 服装の工夫

- 襟元を緩め、風通しのよい服装を
- 帽子を使用し、衣服は汗を吸収し、通気性のよい素材のものに

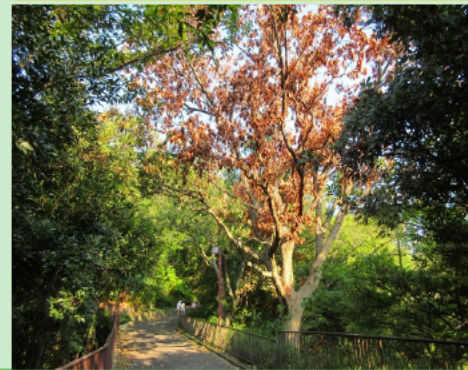


## こんな虫にご用心

一部の幼虫には身を守るための毒素を持つものがあり、知らずに触れると人に被害を及ぼすものがあります。これらの虫を見つけた場合は、土木事務所等へご連絡をお願いします。また、これからの時期、ハチが多くなります。活動の際は十分ご注意ください。

	発生しやすい場所	発見のポイント	注意点
<b>チャドクガ(幼虫)</b> 	チャノキ、ツバキ、サザンカ等のツバキ科植物	<ul style="list-style-type: none"> <li>●幼虫が小さいうちは、葉の裏側などに並び、集団で葉を食べます。</li> <li>●淡黄褐色で、全身が毒針毛で被われています。</li> <li>●地面に黒いフンが落ちています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●触れるとひどくかぶれます。卵や抜け殻、成虫などにも毒針毛が付いて、これらにも触れるとかぶれます。主に葉の裏側に付き、子どもでも届くところにも発生するため、特に注意が必要です。</li> <li>●春から秋にかけて年2回から3回発生します。固まりのうちの早めの剪除が効果的です。</li> </ul>
<b>イラガ(幼虫)</b> 	サクラ、ケヤキ、ウメ、カエデ等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●発生初期は葉の裏側を削るように食べるため、葉が透かし状になります。</li> <li>●全身が、トゲで被われています。</li> <li>●地面に黒いフンが落ちています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刺されると電気が走ったような強い痛みを感じます。</li> <li>●幼虫が小さいうちは集団で固まっているものも多く、<u>早めの防除が肝心</u>です。</li> </ul>
<b>アシナガバチ</b> 	植え込みの中や木の枝の茂みの陰など	<ul style="list-style-type: none"> <li>●作業に入る前に、茂みを熊手などで軽く叩くなどし、ハチの巣の存在を確認してください。</li> <li>●ハチが出てきた場合は、静かにその場を離れその日の作業は中止してください。巣の撤去について、土木事務所等へご連絡してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ハチは、6月頃から巣を作り始め10月頃まで活動しますが、9月頃になると巣が大きくなり攻撃性が強くなります</li> </ul>
<b>スズメバチ</b> 			<p>*害のない虫もあります*</p> <p>毒があるものはほんの一部の種類だけです。公園の利用に影響がない虫たちは「自然の一部」ということで、そっとしておいてください。</p>

## ナラ枯れを発見したら



ナラ枯れは、虫が木に入り込み木を枯らすもので、ナラ類、カシ・シイ類大径木に多く発生します。日本各地で発生しており、市内でも平成30年から現在まで、公園や市民の森等、百数十か所で被害が確認されています。

### 【特徴】

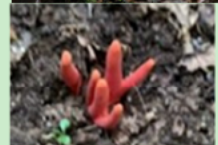
- 葉が枯れている
- 木の幹に直径1.5~2mmの虫が潜り込んだ穴があいている
- 木くずが根元に落ちる

いつもは葉が緑の時期に枯れているなど、お気づきの場合は土木事務所等へご連絡ください。

## ナラ枯れのそばによく発生する猛毒キノコに注意



▲手のような形



◀ 出始めの頃

横浜市内公園内でカエントケが確認されています。カエントケは、夏~秋に、広葉樹林の地上に群生して発生します。

(大きさは数cm~20cmにもなります。)

カエントケの毒性は非常に強く、誤って食べてしまうと死に至る可能性があります。また、触れるだけで皮膚の炎症をひき起こしますので、発見しても絶対にさわらないでください!

公園管理者が見つけた次第除去していますが、万が一見つけた場合は、土木事務所等にご一報ください。

## 公園活用企画を募集します

### 都市公園制度制定150周年記念事業「はま・ゆめパーク」

「2027年の国際園芸博覧会の機運を盛り上げる」「自然や緑を感じ、環境にやさしい遊びや、様々な体験ができる」「子どもたちや子育て世代が、気軽にスポーツやレクリエーションができる」など、公園を活用した提案を自ら実施する個人・団体・企業等からの企画を募集し、企画の実施を市が支援します。応募方法などの詳細は、本市Webサイトからご覧ください。【募集期限】令和5年8月15日(必着)

●問合せ 公園緑地管理課「はま・ゆめパーク」事務局 TEL 671-2642 (平日9:00~17:00)



↑応募の詳細はこちらから

実現したい企画を応募しよう!



### 都市公園制度制定150周年とは

今年には日本に公園制度が1873年に創設されてから150年になります。

横浜では1859年の開港以来、多くの外国人が移り住み、1870年には全国に先駆けて、横浜に留外国人による日本初の西洋式公園である山手公園が造られ、1876年には彼我公園(現在の横浜公園)も造られました。

これまでの横浜の公園とみどりの歩みについては、「公園とみどり 横浜の150年」でまとめてあります。本市Webサイトでご覧いただけます。



都市公園制度制定150周年  
150TH ANNIVERSARY



↑パンフレットがご覧いただけます



蒔田公園のワンデーキッズパークの様子

# コーディネーター便り

公園愛護会活動のお手伝いをする  
各土木事務所の専門の相談員の紹介です。

鶴見区

寺本コーディネーター

今春から鶴見区の公園愛護会等コーディネーターを担当させていただきます。

公園は、市民の憩いの場であり、地域交流の大切な場所だと思っています。地域の皆さんのお役に立てるように、自身のガーデニングの勉強も兼ねて、一日も早く仕事に慣れるように頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



## ～2027年国際園芸博覧会に向けて～ 機運醸成！『GREEN×EXPO 2027』をPRしています！

暖かい春の陽気が続き、草花が美しく咲き誇る季節となった4～6月。横浜市役所で開催された、横浜市の花“バラ”を楽しむ「横浜ローズウィーク」のメインイベント「ローズフェアwith趣味の園芸」や、臨港パーク周辺で開催された横浜開港祭で、2027年横浜国際園芸博覧会「GREEN×EXPO2027」のPRを行いました。

ポスターの掲出やチラシの配架、PR動画の放映に加えて切り花や花の種子の配布等を行い、多くの方にお立ち寄りいただきました。

このほか、里山ガーデンや横浜トライアスロンといったイベントにおけるPRのほか、自治会町内会の掲示板へのPRチラシを掲出していただきました。

今後も様々なイベント等、機会を捉えたPRを行っていきます。

2027年の開催に向けて、市民の皆さまと一緒に機運を高めていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします！

なお、3月号で告知していた内容は、ただいま準備中です。詳細が決まり次第お知らせします。



ローズフェアでの  
「GREEN×EXPO2027」  
PRの様子



GREEN×EXPO2027  
公式ロゴマーク  
(4月28日決定)



国際園芸博覧会



## 原則として公園では農薬（除草剤など）の散布は出来ません。

学校、公園、街路樹及び住宅地に近接する農地等において農薬を使用するときは、農薬の飛散を原因とする住民等の健康被害が生じないようにすることが必要です。

横浜市の公園では農薬の飛散を原因とする、住民や子ども等への健康被害が生じないように、原則として農薬を使用しない管理をしています。

公園愛護会の皆様におかれましても農薬を使わない活動のみ行い、お困りの際は土木事務所等へご相談いただくようお願いします。



公園の維持管理・公園愛護会通信の配布部数に関するお問合せは、各土木事務所・公園緑地事務所をお願いします。

※バックナンバーは横浜市公園愛護会のホームページから閲覧できます。

発行/横浜市環境創造局公園緑地維持課 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10 (27F)

電話：045-671-2650 FAX：045-664-2588 Eメールアドレス：ks-aigokai@city.yokohama.jp 発行月：令和5（2023）年7月